

番 号 : 140029

国 名 : ガボン

担当部署 : 地球環境部 森林・自然環境保全第二課

案件名 : (科学技術協力) 野生生物と人間の共生を通じた熱帯林の生物多様性保全プロジェクト  
終了時評価 (エコツアー手法評価)

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : エコツアー手法評価
- (2) 格 付 : 2号
- (3) 業務の種類 : 調査団参団

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2014年4月中旬から2014年5月中旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.25M/M、現地 0.70M/M、合計 0.95M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 3日 現地業務期間 21日 整理期間 2日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 3月19日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出、  
または調達部受付 (JICA本部1F) への書類の提出

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」([http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204\\_02.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいたても受領致しかねます。ご留意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
    - ①業務実施の基本方針 16点
    - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
  - (2) 業務従事者の経験能力等 :
    - ①類似業務の経験 40点
    - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
    - ③語学力 16点
    - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	エコツアーに係る各種調査/指導
対象国/類似地域	ガボン/全途上国
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 : 黄熱(入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)が必要です。

### 6. 業務の背景

昨今、我が国の科学技術を活用した地球規模課題に関する国際協力の期待が高まるとともに、日本国内でも科学技術に関する外交の強化や科学技術協力におけるODA活用の必要性・重要性がうたわれてきた。このような状況を受けて、2008年度より「地球規模課題に対応する科学技術協力」(SATREPS)事業が新設された。本事業もその事業の一つである。

本業務の対象国である、コンゴ盆地に位置するガボンには高い森林率を有し、また生物多様性が高く固有種の多く生息する地域として知られている。ガボン政府は2002年に国土面積の10%以上を占める地域を13の国立公園として制定する等、自国のもつ豊かな生態系の保全への取り組みを始めている。また国立公園の設立・管理を通じて生物多様性の保全をすすめるにあたりエコツーリズムを重要視しており、国際NGO等により上述の国立公園をサイトとしたエコツーリズムの導入が進められている。

しかしながら保全の対象となる熱帯林生態系についての科学的データは必ずしも十分に収集・分析されておらず、これが効果的に保全活動を実施する上での課題となっている。またエコツーリズムに関しても、人と野生生物の接触により発生する人獣共通感染症等への対策を含め、適正な形でエコツーリズムを導入するための科学的知見の蓄積が必要とされているのが現状である。

京都大学はアフリカの熱帯林に生息する類人猿をはじめとする霊長類に関する研究に1950年代から取り組んでいる。同地域における保護区や国立公園においては、類人猿がその生息地を代表する動物種であることから、京都大学の類人猿研究者はその設立・管理に深く関与してきた。ガボンにおいてはガボン熱帯生態研究所 (Institut de Recherches en Ecologie Tropicale : IRET) と京都大学が締結した研究協約書に基づき、上述の13の国立公園の一つでありゴリラをはじめとする霊長類の貴重な生息地として知られるムカラバ・ドゥドゥ国立公園 (PNMD) において霊長類の社会生態学的研究等を実施し貴重な研究成果を残している。

かかる状況のもと、これまでに京都大学とIRETの協力により残された研究成果を踏まえた上で、PNMDにおける生物多様性の保全や人獣共通感染症の予防、エコツーリズムの促進等を目標とした技術協力プロジェクト「野生生物と人間の共生を通じた熱帯林の生物多様性保全」がSATREPS事業として2009年9月から5年間の計画で開始された。

今般、JICAではプロジェクト終了を控え、終了時評価に係る調査団を派遣し、これまでの実績、今後の活動計画を評価分析し、プロジェクト終了時のプロジェクト目標の達成見込み及び残された協力期間に対する提言を行うこととしている。中でもエコツアーについては地域住民の参加による実施への提言をプロジェクト目標としていることから、本プロジェクトにおいて、その重要性は非常に高い。この為、プロジェクト全体を評価する評価・分析団員とは別にエコツアーに係る評価・分析を行える当専門家の派遣を行い、評価・分析と共に、必要な提言や現地での指導を行うこととする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、ガボン側も含む他評価団員、JICAガボン支所や日本側研究者、ガボン側関連機関関係者と協議しつつ、プロジェクトが準備を進める住民参加型エコツアーに関して、これまでの成果、エコツアー実施の可能性評価等について現地調査も含め幅広く情報収集を行い、評価・分析を行う。また、評価・分析の結果として残るプロジェクト期間における改善点等をプロジェクトへ提言するとともに、必要に応じて具体的な指導を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備期間 (2014年4月中旬)

- ① 既存の文献、報告書等 (年次報告書、合同調整委員会 (JCC) 報告書、活動実績資料等) をレビューし、エコツアーに関するプロジェクトの活動成果、実施プロセスを整理・分析する。
- ② 国内で収集可能な情報を基に、必要に応じて質問票 (英文) を作成する。
- ③ 対処方針会議等に参加する。

### (2) 現地派遣期間 (2014年4月中旬～5月中旬)

- ① ワークプランを基に、JICAガボン支所、カウンターパートであるIRETや国立公園の所管機関である国立公園局 (ANPN) を含むガボン側関係者との協議等に参加する。

- ② ガボンにおけるエコツアーの現況について確認を行う。
- ③ ガボン側評価団員を含む他の団員やプロジェクト関係者とも連携し現地調査に参加し、担当分野における以下の点について現状を分析する。
  - (a) 住民の巻き込み
  - (b) 関係省庁、NGOとの連携
  - (c) エコツアー実施準備状況
  - (d) その他
- ④ 関係者からの聞き取り結果と現地調査により得られた結果から、プロジェクトにおけるエコツアーへの提言の進捗状況を分析し、評価を行うと共に今後の活動にあたっての提言を行う。
- ⑤ また、今後の活動に対する提言については、インタープリテーションなど書面だけの提言では理解が困難なケースも考えられることから、必要に応じて、プロジェクト関係者に対して現地での具体的な指導を行うこととする。
- ⑥ 担当分野について合同終了時評価報告書（案）を作成する。
- ⑦ 合同評価後に実施するシンポジウムにおいて、担当分野に係る発表を行う。
- ⑧ 業務結果をまとめ、JICAガボン支所、ガボン側関係機関等、プロジェクト関係者に報告する。

(3) 帰国後整理期間（2014年5月中旬）

- ① 帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る報告を行う。
- ② 業務報告書（和文）を作成する

## 8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

- (1) 担当分野に係る業務報告書（和文）  
電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等  
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。
- (2) 臨時会計役の委嘱  
無し
- (3) 直接人件費月額単価  
・直接人件費月額単価については、平成26年度単価を上限とします。

(<http://www.jica.go.jp/announce/information/20140212.html>)

## 10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境
  - ① 現地業務日程  
現地派遣期間は2014年4月中旬～5月中旬を予定しています。
  - ② 現地での業務体制  
本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。
    - ア) 総括（JICA）
    - イ) 協力企画（JICA）
    - ウ) 評価分析（コンサルタント）
    - エ) エコツアー手法評価（コンサルタント）

それ以外にプロジェクト チーフアドバイザー及びJSTからの評価調査団が同行します。

③ 便宜供与内容

当機構ガボン支所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎  
あり
- イ) 宿舎手配  
あり
- ウ) 車両借上げ  
全行程に対する移動車両の提供
- エ) 通訳備上  
必要に応じて現地にて備上
- オ) 現地日程のアレンジ  
機構がアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供  
あり

(2) 参考資料

本プロジェクトに関する以下の資料が、当機構図書館のウェブサイト  
(<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。

- ・「ガボン国 野生動物と人間の共生を通じた熱帯林の生物多様性保全プロジェクト詳細計画策定調査報告書」
- ・「ガボン国 野生動物と人間の共生を通じた熱帯林の生物多様性保全プロジェクト中間評価報告書」

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上